

横浜市の助成制度について

01 交付対象について

住宅等に宅内雨水浸透ます等を設置する場合、「宅内雨水浸透ます設置検討確認書」の条件を満たす場合は助成の対象となります。詳しくは本パンフレットの「雨水浸透ますの設置基準」を確認してください。

02 助成金額や申請手続きについて

宅内雨水浸透ます1個当たり、および1件の助成金額は次のとおりです。

■助成金の額

ますの内径	助成金の額		
	宅内雨水浸透ますを新設する場合	既設ますを宅内雨水浸透ますに付け替える場合	手続き経費等
φ150mm	15,000円/個	28,000円/個	50,000円以内 (1件につき)
φ200mm以上	18,000円/個	31,000円/個	

申請できる個数は排水設備(水洗便所改造)計画確認申請で確認された個数を上限とします。助成制度についての詳細や手続きの流れ、申請書の様式等は以下を参照してください。

☞ 宅内雨水浸透ます設置助成制度のご案内

URL <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kasen-gesuido/gesuido/setsuzoku/amamizu/joseikin.html>



03 交付申請書の提出について

「横浜市宅内雨水浸透ます設置助成金交付申請書」(第1号様式)を各区土木事務所に提出してください。

☞ 各区土木事務所一覧

URL <https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/org/doro/sonota/20140225170306.html>



雨水浸透ます・雨水浸透管の設置に関するお問い合わせ先

横浜市 環境創造局管路保全課 TEL:045-671-2829

鶴見川流域水協議会(国土交通省関東地方整備局、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、町田市、稲城市)では、鶴見川流域水マスタープランを推進し、雨水浸透の促進を図ることで、水循環系の健全化に取り組みます。

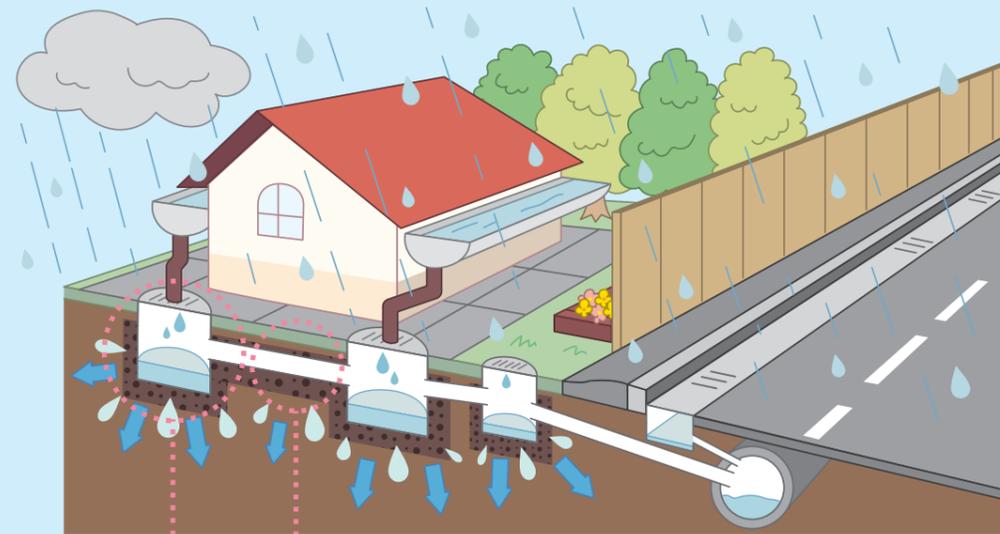
住宅の新築、改築、リフォームの際には、

設置・交換をお勧めしてください

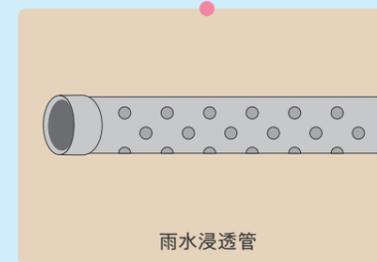
雨水浸透ます・雨水浸透管の



雨水浸透ます・雨水浸透管を設置すると



雨水浸透ます



雨水浸透管

鶴見川流域では気候変動と急速な都市化の影響で水害のリスクが高まっています。雨水浸透ます・雨水浸透管を設置すると、雨水は地下にしみこみ、河川への流入を緩和し、水害を減らすことができます。



雨水浸透ますの設置手順

雨水浸透ますの設置手順は以下の通りです。※一般的な設置手順です。詳しくは製品説明を確認してください。

01 掘削工

所定の大きさを掘削します。

02 敷砂工

掘削した底部に、10cm程度の荒砂(または碎石)を敷きます。浸透効率を低下させないため転圧をしないで表面をならします。

03 透水シート工 (底面及び側面)

側面と底面に透水性シートを敷きます。

04 碎石の充填工 (底面)

単粒度碎石(3~4号)を所定の厚さまで敷きならしめます。

05 雨水浸透ます等の設置工

雨水浸透ますの位置と水平を確認し、雨水浸透管や通常の排水管を配管します。

06 碎石の充填工 (側面及び上面)

ますの側面に単粒度碎石(3~4号)を入れ表面をならしめます。

07 透水シート工 (上面)

上部の透水シートで碎石を包み込むようにますの中央に向かって折り曲げます。

08 埋め戻し工

良質土で埋め戻し転圧します。



雨水浸透ます・雨水浸透管の設置費用

施工時に、雨水ます、排水管を雨水浸透ます、雨水浸透管に代替可能です。

それぞれの一般的な設置費用は表の通りです。

工事内容		金額
新設工事費	雨水浸透ます	2~15万円/基(規格や材質により変動します)
	雨水浸透管	1~6万円/m(規格や材質により変動します)
既設工事費		事例により金額は様々

雨水浸透ます・雨水浸透管の内径及び材質

横浜市で定める雨水浸透ます、雨水浸透管の標準規格は次の通りです。

【宅内の雨水浸透ますの内径及び材質】
雨水浸透ますの内径は150mm(樹脂製ます)を標準とする。ただし、内径の大きなものを設置することができる場合を除く。なお、右の表に示す通り、樹脂製及びコンクリート製雨水浸透ますの設置に当たっては、横浜市排水設備要覧に基づき、ますの深さ(泥だめを除いた深さ)に応じて、内径又は内径の幅を有するものとする。

■雨水浸透ますの深さと内径

(ア)樹脂製

ますの深さ(cm)(泥だめを除いた深さ)	ますの内径又は内径の幅(cm)
90未満	15以上
90以上120未満	20以上
120以上150未満	30以上

(イ)コンクリート製

ますの深さ(cm)(泥だめを除いた深さ)	ますの内径又は内径の幅(cm)	
	ます	接続ます
30以上60未満	24以上	—
60以上90未満	40以上	45以上
90以上120未満	60以上	60以上
120以上150未満	70以上	70以上
150以上	90以上	90以上

【材質および標準内径】
材質は、樹脂製またはコンクリート製のものとする。材質に応じて次のとおりの内径を標準とする。

- (ア)樹脂製
①内径 150mm ②内径 200mm ③内径 300mm
(イ)コンクリート製
①内径 300mm ②内径 360mm ③内径 450mm
詳しくは以下を確認してください。

■横浜市排水設備要覧

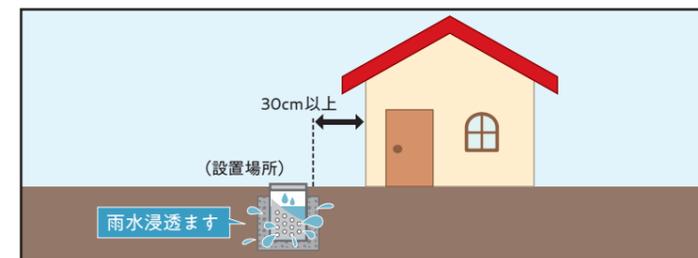
URL https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kasen-gesuido/gesuido/setsuzoku/haisui/youran.files/0007_20180824.pdf



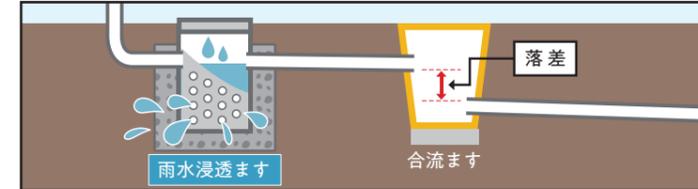
雨水浸透ます・雨水浸透管の設置基準

横浜市の雨水浸透ます・雨水浸透管の設置基準は次の通りです。

■建築物と雨水浸透ます碎石外側との離隔



■設置場所の排水方式が合流式の場合
合流ますでの落差を排水管径以上とり、汚水の逆流を防止する



詳しくは以下を確認してください。

■雨水浸透施設設置基準

URL https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kasen-gesuido/gesuido/setsuzoku/amamizu/joseikin.files/0037_20190418.pdf



■隣接境界及び擁壁等と雨水浸透ます碎石外側との離隔

(ア)高低差がない場合
隣接境界 30cm以上 (設置場所) 雨水浸透ます

(イ)高低差2.0m未満の擁壁等がある場合
1H以上 2H以上 (設置場所) 擁壁等 高低差 H=2.0m 以上 雨水浸透ます

(ウ)高低差2.0m以上の擁壁等
30cm以上 100cm以上 (設置場所) 擁壁等 高低差 H=2.0m 未満 雨水浸透ます